

平成29年度
医学部健康総合科学科
《旧カリ4年生用》

【開講時期順】医学部 健康総合科学科講義一覧、目次

開講ターム：4－4年生、S1－S1ターム、S2－S2ターム、A1－A1ターム、A2－A2ターム
 ※「複数のタームを通して開講する授業」および「タームをまたがって開講する授業」は、連続して表示（例：S1S2）。

記号：◎－必修 ○－選択
 ※－看護学コース必修（健康科学コースは選択）
 ◇－看護学コース必修免除
 ☆－健康科学コース履修不可

区分記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	責任教員	頁
※	地域看護学	2	4年 S 1	2324201	成瀬 昂	89
※	精神看護学	2	4年 S 1	232440	川上 憲人	90
※	老年看護学 II	2	4年 S 1	2324002	真田 弘美	91
◎	産業保健・看護	2	4年 S 1	230220	橋本 英樹	92
○	環境工学・人間工学	2	4年 S 1	232040	渡辺 知保	93
※	成人看護学 II	2	4年 S 1	2323402	山本則子	94
○	原書講読	2	4年 S 1	232650	各教員	95
※☆	成人看護学実習	4	4年 S1A1	2323502	山本 則子	96
○	環境保健学実習	2	4年 S 2	232020	渡辺 知保	97
○	保健・医療管理論	2	4年 S 2	232120	中澤栄輔	98
○	保健・医療管理実習	2	4年 S 2	232130	瀧本禎之	99
※☆	母性看護学実習	2	4年 S 2	232370	春名めぐみ	100
※	看護管理学	1	4年 A 1	232460	武村 雪絵	101
※☆	看護管理学実習	1	4年 A 1	232470	武村 雪絵	102
○	医化学	2	4年 S 2	232540	渡邊 洋一	103
○	医化学実験実習	2	4年 S 2	232550	渡邊 洋一	104
○	人類遺伝学実験実習	2	4年 S 2	232570	水口 雅	105
※☆	在宅看護論実習	2	4年 S 2	2327601	成瀬 昂	106
※☆	老年看護学実習	2	4年 S 2	232410	真田 弘美	107
○	応用数理	2	4年 A 1	232070	松山 裕	108
○	医学データ解析	2	4年 A 1	232100	大庭 幸治	109
○	医学データ解析実習	1	4年 A 1	232110	大庭 幸治	110
※☆	看護の統合と実践実習	1	4年 A 1	232900	山本則子	111
※☆	小児看護学 II	1	4年 A 1	2323802	上別府 圭子	112
※☆	小児看護学実習 II	2	4年 A 1	2323902	上別府 圭子	113
※	精神看護学実習	2	4年 A 1	232450	川上 憲人	114
◎◇	卒業論文	6	4年集中	230270	各指導教員	115

【科目名順】医学部 健康総合科学科講義一覧、目次

開講ターム：4－4年生、S1－S1ターム、S2－S2ターム、A1－A1ターム、A2－A2ターム
 ※「複数のタームを通して開講する授業」および「タームをまたがって開講する授業」は、連続して表示（例：S1S2）。

記号：◎－必修 ○－選択
 ※－看護学コース必修（健康科学コースは選択）
 ◇－看護学コース必修免除
 ☆－健康科学コース履修不可

区分	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	責任教員	頁
○	医化学	2	4年 S 2	232540	渡邊 洋一	103
○	医化学実験実習	2	4年 S 2	232550	渡邊 洋一	104
○	医学データ解析	2	4年 A 1	232100	大庭 幸治	109
○	医学データ解析実習	1	4年 A 1	232110	大庭 幸治	110
○	応用数理	2	4年 A 1	232070	松山 裕	108
○	環境工学・人間工学	2	4年 S 1	232040	渡辺 知保	93
○	環境保健学実習	2	4年 S 2	232020	渡辺 知保	97
※☆	看護の統合と実践実習	1	4年 A 1	232900	山本則子	111
※	看護管理学	1	4年 A 1	232460	武村 雪絵	101
※☆	看護管理学実習	1	4年 A 1	232470	武村 雪絵	102
○	原書講読	2	4年 S 1	232650	各教員	95
※☆	在宅看護論実習	2	4年 S 2	2327601	成瀬 昂	106
◎	産業保健・看護	2	4年 S 1	230220	橋本 英樹	92
※☆	小児看護学 II	1	4年 A 1	2323802	上別府 圭子	112
※☆	小児看護学実習 II	2	4年 A 1	2323902	上別府 圭子	113
○	人類遺伝学実験実習	2	4年 S 2	232570	水口 雅	105
※	成人看護学 II	2	4年 S 1	2323402	山本則子	94
※☆	成人看護学実習	4	4年 S1A1	2323502	山本 則子	96
※	精神看護学	2	4年 S 1	232440	川上 憲人	90
※	精神看護学実習	2	4年 A 1	232450	川上 憲人	114
◎◇	卒業論文	6	4年集中	230270	各指導教員	115
※	地域看護学	2	4年 S 1	2324201	成瀬 昂	89
○	保健・医療管理実習	2	4年 S 2	232130	瀧本禎之	99
○	保健・医療管理論	2	4年 S 2	232120	中澤栄輔	98
※☆	母性看護学実習	2	4年 S 2	232370	春名めぐみ	100
※	老年看護学 II	2	4年 S 1	2324002	真田 弘美	91
※☆	老年看護学実習	2	4年 S 2	232410	真田 弘美	107

平成27年度進学者 全学生必修科目・看護学生必修科目一覧

全学生必修科目

健康総合科学概論
人間発達学
解剖学
統計情報処理実習
基礎生命科学
人間心理学
生理学
生化学
微生物・医動物学
薬理・毒性学
健康社会学
疫学・生物統計学
精神疾病論
社会調査実習
医療倫理学
母子保健学
救急処置
精神保健学
疾病論 I
病態生理免疫学
精神保健学実習
保健学実験・検査法実習
母子疾病論
健康教育（職域・地域）
保健健康管理
保健労働行政・法制
産業保健・看護

※「人間発達学」「基礎生命科学」は、
選択科目であるが必ず履修すること

看護学生必修免除科目

人類遺伝学 I
人類生態学
分子生物学
免疫学
卒業論文

看護学生必修科目

健康支援実習
国際保健学
基礎看護学 I
基礎看護学 II
母性看護学
保健福祉行政 I
基礎看護学 III
地域看護学
小児看護学 I
小児看護学 II
保健福祉行政 II
老年看護学 I
老年看護学 II
成人看護学 I
成人看護学 II
家族看護学
基礎看護学実習
在宅看護論
精神看護学
成人看護学実習
母性看護学実習
老年看護学実習
地域看護学実習
看護管理学
看護管理学実習
精神看護学実習
小児看護学実習 I
小児看護学実習 II
在宅看護論実習
看護の統合と実践実習

<看護学生履修上の注意点>

※「疾病論 II」は選択科目であるが履修を強く勧める。

※平成24年度以前進学者は2012シラバスを参照のこと。

<看護学生必修科目について>

本表は、平成23年以降入学者に適用される。
平成22年度以前の入学者は、履修について教

平成 29 年度 医学部健康総合科学科 4 年生 (旧カリ) 授業日程表

4 年生 S1(4/5 水 - 5/26 金:4/12 は休講)

	1 限 (8:30-10:15)	2 限 (10:25-12:10)	3 限 (13:00-14:45)	4 限 (14:55-16:40)	5 限 (16:50-18:35)
月				地域看護学	原書講読
火		精神看護学		老年看護学 II	原書講読
水				産業保健・看護	原書講読
木		環境工学・人間工学			原書講読
金		成人看護学 II			

成人看護学実習 I (集中) 2 週間

看護学に関する講義日程に関しては、教室間において適宜授業日程の調整を行うことがある

4 年生 S2(6/5 月 - 7/31 月)

健康科学コース

環境保健学実習
 医化学
 医化学実験実習
 保健・医療管理論
 保健・医療管理実習
 人類遺伝学実験実習
 保健行動調査実習 (H29 は休講)
 母子疾病論実習 (H29 は休講)
 疫学研究の計画と解析実習 (H29 は休講)

看護学コース

母性看護学実習 (2 週間)
 老年看護学実習 (2 週間)
 在宅看護論実習 (2 週間)
 # 看護学コース実習の各日程に関しては、適宜調整を行う

4 年生

健康科学コース A1 (9/25 月 - 11/17 金)

	1 限 (8:30-10:15)	2 限 (10:25-12:10)	3 限 (13:00-14:45)	4 限 (14:55-16:40)	5 限 (16:50-18:35)
月	卒業論文				
火			応用数理		
水	卒業論文				
木	卒業論文				
金	医学データの解析 医学データの解析実習				

看護学コース(9/19-11/24)

看護管理学・看護管理学実習 (集中)

成人看護学実習 II (2 週間)

看護の統合と実践実習 (1 週間)

小児看護学 II (1 週間・集中講義)

小児看護学実習 II (2 週間)

精神看護学実習 (2 週間)

看護学コース実習の各日程に関しては、適宜調整を行う

4 年生 A2(11/20 月 - 1/26 金) 12/29 - 1/3 は休み

卒業論文

H29年度 4年生 講義日程

S1ターム:4月5日(水)～5月26日(金)

S2ターム:6月5日(月)～7月31日(月)

		午前		午後					午前		午後									
月	日	曜	週	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30	月	日	曜	週	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30			
4	3	月							6	5	月	①								
	4	火								6	火	①								
	5	水	①			産業保健・看護		原書購読		7	水	①								
	6	木	①	環境工学・人間工学						原書購読	8	木	①							
	7	金	①	成人看護学Ⅱ							9	金	①							
	10	月	①			地域看護学		原書購読		12	月	②								
	11	火	①	精神看護学		老年看護学Ⅱ		原書購読		13	火	②								
	12	水		休講(創立記念日)							14	水	②							
	13	木	②	環境工学・人間工学						原書購読	15	木	②							
	14	金	②	成人看護学Ⅱ							16	金	②							
	17	月	②			地域看護学		原書購読		19	月	③								
	18	火	②	精神看護学		老年看護学Ⅱ		原書購読		20	火	③								
	19	水	②			産業保健・看護		原書購読		21	水	③								
	20	木	③	環境工学・人間工学						原書購読	22	木	③							
	21	金	③	成人看護学Ⅱ							23	金	③							
	24	月	③			地域看護学		原書購読		26	月	④								
	25	火	③	精神看護学		老年看護学Ⅱ		原書購読		27	火	④								
	26	水	③			産業保健・看護		原書購読		28	水	④								
	27	木	④	環境工学・人間工学						原書購読	29	木	④							
	28	金	④	成人看護学Ⅱ							30	金	④							
	1	月	④			地域看護学		原書購読		3	月	⑤								
	2	火	④	精神看護学		老年看護学Ⅱ		原書購読		4	火	⑤								
	3	水		祭日							5	水	⑤							
	4	木		祭日							6	木	⑤							
	5	金		祭日							7	金	⑤							
	8	月	⑤			地域看護学		原書購読		10	月	⑥								
	9	火	⑤	精神看護学		老年看護学Ⅱ		原書購読		11	火	⑥								
	10	水	④			産業保健・看護		原書購読		12	水	⑥								
11	木	⑤	環境工学・人間工学					原書購読	13	木	⑥									
12	金	⑤	成人看護学Ⅱ		休講(五月祭)				14	金	⑥									
15	月	⑥			地域看護学		原書購読	17	月		祭日									
16	火	⑥	精神看護学		老年看護学Ⅱ		原書購読	18	火	⑦										
17	水	⑤			産業保健・看護		原書購読	19	水	⑦										
18	木	⑥	環境工学・人間工学					原書購読	20	木	⑦									
19	金	*1	成人看護学Ⅱ						21	金	⑦									
22	月	⑦			地域看護学		原書購読	24	月	⑦										
23	火	⑦	精神看護学		老年看護学Ⅱ		原書購読	25	火	⑧										
24	水	⑥			産業保健・看護		原書購読	26	水	⑧										
25	木	⑦	環境工学・人間工学					原書購読	27	木	⑧									
26	金	*2	成人看護学Ⅱ						28	金	⑧									
29	月	⑧							31	月	⑧									
30	火	*3																		
31	水	⑦																		
1	木	⑧																		
2	金	⑧																		

*1:AM⑥ PM⑤ *2:AM⑦ PM⑥ *3:AM⑧ PM金⑦

試験期間

成人看護学実習(集中2週間)

看護学に関する講義日程に関しては、教室間において適宜授業日程の調整を行うことがある

健康科学コース、看護学コースと主に実習があり、日程は未定

H29年度 4年生 講義日程

健康科学コース A1ターム 9月25日(月)－11月17日(金)

看護学コース A1ターム 9月19日(火)－11月24日(金)

		午前		午後					午前		午後					
月	日	曜	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30	月	日	曜	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30	
9	19	火						9	19	火	①	看護管理学・看護管理学実習				
	20	水							20	水	①	看護管理学・看護管理学実習				
	21	木							21	木	①	看護管理学・看護管理学実習				
	22	金							22	金	①	看護管理学・看護管理学実習				
	25	月	①	卒業論文						25	月	②	看護管理学・看護管理学実習			
	26	火	①			応用数理				26	火	②	看護管理学・看護管理学実習			
	27	水	①	卒業論文						27	水	②	看護管理学・看護管理学実習			
28	木	①	卒業論文					28	木	②	看護管理学・看護管理学実習					
29	金	①	医学データの解析		医学データの解析実習			29	金	②	成人看護学実習オリエンテーション					
10	2	月	卒業論文					10	2	月	③	成人看護学実習				
	3	火			応用数理				3	火	③	成人看護学実習				
	4	水	卒業論文						4	水	③	成人看護学実習				
	5	木	卒業論文						5	木	③	成人看護学実習				
	6	金	医学データの解析		医学データの解析実習				6	金	③	成人看護学実習				
	9	月	振替休日							9	月	振替休日				
	10	火			応用数理				10	火	④	成人看護学実習				
	11	水	卒業論文						11	水	④	成人看護学実習				
	12	木	卒業論文						12	木	④	成人看護学実習				
	13	金	医学データの解析		医学データの解析実習				13	金	④	成人看護学実習				
	16	月	卒業論文						16	月	④	成人看護学実習				
	17	火			応用数理				17	火	⑤	看護の統合と実践実習				
	18	水	卒業論文						18	水	⑤	看護の統合と実践実習				
	19	木	卒業論文						19	木	⑤	看護の統合と実践実習				
20	金	医学データの解析		医学データの解析実習			20	金	⑤	看護の統合と実践実習						
23	月	卒業論文					23	月	⑤	看護の統合と実践実習						
24	火			応用数理			24	火	⑥							
25	水	卒業論文					25	水	⑥							
26	木	卒業論文					26	木	⑥							
27	金	医学データの解析		医学データの解析実習			27	金	⑥							
30	月	卒業論文					30	月	⑥							
31	火			応用数理			31	火	⑦							
11	1	水	卒業論文					11	1	水	⑦					
	2	木	卒業論文						2	木	⑦					
	3	金	祭日							3	金	祭日				
	6	月	卒業論文						6	月	⑦					
	7	火			応用数理				7	火	⑧					
	8	水	卒業論文						8	水	⑧					
	9	木	卒業論文						9	木	⑧					
	10	金	医学データの解析		医学データの解析実習				10	金	⑧					
	13	月	卒業論文						13	月	⑧					
	14	火	医学データの解析		医学データの解析実習				14	火	金⑦					
	15	水							15	水						
16	木						16	木								
17	金						17	金								

- *1.PM②
- *2.AM②, PM③
- *3.AM③, PM④
- *4.AM④, PM⑤
- *5.AM⑤, PM⑥
- *6.AM⑥, PM⑦
- *7.AM⑦, PM⑧

- *1.PM②
- *2.AM②, PM③
- *3.AM③, PM④
- *4.AM④, PM⑤
- *5.AM⑤, PM⑥
- *6.AM⑥, PM⑦
- *7.AM⑦, PM⑧

試験期間

試験期間

平成29年度
医学部健康総合科学科
《旧カリ4年生用》
～講義内容～

2324201	地域看護学		選択
単位数	2	責任教員	成瀬 昂
開講ターム	4年S1	開講期間	S1 (2017/04/06-2017/05/13)
曜日・時限	月 (Mon)3 [13:00-14:45], 月 (Mon)4 [14:55-16:40], 水 (Wed)1 [08:30-10:15], 水 (Wed)2 [10:25-12:10]		
科目担当	成瀬 昂, 寺本 千恵, 藤崎 万裕		
目標・概要	<p>地域看護学は地域で生活している個人、家族、特定集団を対象に、健康増進、疾病の予防と回復、日常生活や社会生活への適応を図るための支援方法を探求する学問である。そのための対象論と方法論について講義する。</p> <p>内容としては、地域看護の概念・機能、地域看護の発展過程、地域看護活動の対象・場の特性、地域看護診断の方法と地域看護活動の実際などである。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域看護学総論／地域看護職の職場と機能 2. 産業分野の成人保健活動 3. 地域の難病支援 4. 地域の高齢者支援 5. 地域の救急看護と在宅 6. 地域の母子保健活動 7. 地域看護の事故予防戦略 		
授業の方法	講義		
成績評価方法	出席状況とレポート等の提出物から総合的に評価する。		
教科書			
参考書			
履修上の注意	受講希望者は一週間前までに成瀬 (takanaruse-tky@umin.ac.jp) まで連絡すること。		
開講場所等	医学部5号館 109		
メールアドレス			
研究室電話番号	内線 23649/23597		
ホームページ			
その他			

232440	精神看護学		選択
単位数	2	責任教員	川上 憲人
開講ターム	4年S1	開講期間	S1 (2017/04/05-2017/06/03)
曜日・時限	火 (Tue)1 [08:30-10:15], 火 (Tue)2 [10:25-12:10]		
科目担当	川上 憲人, 宮本 有紀		
目標・概要	精神看護学の実践について、セルフケア、疾患、社会福祉、心理教育、リカバリーのそれぞれの立場と方法を学ぶ。これらを通して、精神健康に困難を有する人への看護実践のための基本的知識を獲得することを目的とする。 また、どのような環境や関係が人の主体性や健康を促進するのかについて考える。		
授業計画	4月11日 (火) 1-2限 精神看護学総論、精神の健康とセルフケア (宮本有紀) 4月18日 (火) 1限 危機と災害精神保健・Psychological First Aid (PFA) (宮本) 2限 就学・就労・暮らしを支える保健医療資源・社会資源 (宮本) 4月25日 (火) 1限 物質使用障害、認知行動療法 (高野歩) 2限 DARCでの活動 (NPO 法人八王子ダルク 加藤隆さん NPO 法人東京ダルク 山崎明義さん) 5月2日 (火) 1-2限 精神疾患・症状とそれに対する最新の療法 (自己学習と発表) 5月9日 (火) 1限 リカバリーに寄与するサービスとピアサポート (宮本) 2限 精神科医療のニーズ等 (西村聡彦さん) 5月16日 (火) 1限 精神科疾患と精神科チーム医療 (宮本) 2限 精神科病棟の実践とチームワーク (東京大学医学部附属病院看護部 宮城美奈子さん) 5月23日 (火) 1限 社会的包摂: アンチスティグマと意思決定支援 (松長麻美) 2限 リカバリー、ストレングス (宮本) 10月27日 (金) 3限 実習オリエンテーション (宮本・高野)		
授業の方法	講義、討議、演習 A combination of lectures, and discussions.		
成績評価方法	出席状況、講義・討議への参加態度、試問や課題により総合的に評価する。 単位取得には3分の2以上の出席が必要です。 Evaluation will be based on attendance, class participation, and assignments.		
教科書			
参考書			
履修上の注意	講義題目やその順番は、変更することもあります。変更は講義内で連絡します。		
開講場所等	医学部3号館 S102		
メールアドレス	yyuki-tky@umin.ac.jp		
研究室電話番号			
ホームページ	http://plaza.umin.ac.jp/heart/		
その他			

230220	産業保健・看護		必修
単位数	2	責任教員	橋本 英樹
開講ターム	4年S1	開講期間	S1 (2017/04/05-2017/06/03)
曜日・時限	水 (Wed)3 [13:00-14:45], 水 (Wed)4 [14:55-16:40]		
科目担当	橋本 英樹		
目標・概要	産業現場・職域における「健康」の取扱について、関連法規（労働基本法ならびに労働安全衛生法）、産業医学的観点（5管理）、人間工学、さらに健康教育・人材育成論など、複数の観点から鳥瞰することを通じて、働く現場における「健康」の持つ意味を重層的に理解する。		
授業計画	4月12日 3限 総論（小林） 4限 総論2(5管理を中心に)（西浦） 4月19日 3・4限 各論（笠原） 4月26日 3・4限 中小企業の産業保健活動（飯島） 5月10日 3・4限 産業保健活動のアウトソーシング（坂本） 5月17日 3・4限 労働管理と安全衛生法（井上） 5月24日 3限 まとめ 4限 試験（橋本）		
授業の方法	講義・ディスカッション・レポート		
成績評価方法	出席 30%、クラス内ディスカッション・発言の内容 10%、課題・レポート 30% 試験 30%		
教科書	特に指定しない。適宜資料配布		
参考書			
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館 S102		
メールアドレス	hidehashimoto-circ@umin.ac.jp		
研究室電話番号	5841-3514(内線 23514)		
ホームページ			
その他			

232040	環境工学・人間工学		選択
単位数	2	責任教員	梅崎 昌裕
開講ターム	4年S1	開講期間	S1 (2017/04/05-2017/06/03)
曜日・時限	木(Thu)1 [08:30-10:15], 木(Thu)2 [10:25-12:10]		
科目担当	梅崎 昌裕		
目標・概要	健康科学・看護学の分野では、対象となる人間を、狭義の生物医学のみならず、できるだけ広い視野から理解することが必要である。本講義では、人間の健康・生命・医療の問題に工学的な発想に基づいてアプローチする最先端の研究が、都市工学・環境工学・医用精密機械工学などの専門家によって紹介される。本講義でカバーされるトピックはバラエティに富んでいるが、(1)人間の健康にとって極めて重要な意味を持つ「環境」というものを工学的に操作あるいは整備することにより、健康・疾病にインパクトをもたらす環境工学的アプローチ、(2)工学的な技術を治療あるいは予防という従来の医学の領域に導入する人間工学的アプローチに大別できよう。大胆で柔軟な思考力を身につけてもらうことが本講義のねらいである。		
授業計画	4月13日 ナノマシンを用いたピンポイント治療 (内田智士 工学系研究科バイオエンジニアリング専攻) 4月20日 環境工学におけるリスク管理 (福士謙介 サステイナビリティ学連携研究機構) 4月27日 Ecological Momentary Assessment の臨床応用 (吉内一浩 ストレス防御・心身医学/心療内科) 5月11日 都市環境と犯罪・身体活動 (樋野公宏 工学系研究科都市工学専攻) 5月18日 ロボット工学とサイバーフィジカル (森 武俊、野口博史 ライフサポート技術開発学) 5月25日 生物・ヒトの生存戦略と未来環境 (磯山 隆 医用生体工学)		
授業の方法	工学系研究科および医学系で人間・生体工学的手法を扱う分野に所属する専門家を中心としたオムニバスの講義。		
成績評価方法	各回の講義の中で、小テストあるいは小レポートを課し、これに基づいて成績評価を行なう。出席状況も当然考慮する。		
教科書			
参考書	Arthur A. Stone, Saul Shiffman, Audie A. Atienz, Linda Nebeling The Science of Real-Time Data Capture: Self-Reports in Health Research. Oxford University Press, USA; (2007)		
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館 S102		
メールアドレス	satoco@humeco.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

2323402	成人看護学 II		選択
単位数	2	責任教員	山本 則子
開講ターム	4年S1	開講期間	S1 (2017/04/05-2017/06/03)
曜日・時限	金 (Fri)1 [08:30-10:15], 金 (Fri)2 [10:25-12:10]		
科目担当	山本 則子, 五十嵐 歩, 高井 ゆかり, 野口 麻衣子		
目標・概要	看護職およびその他の健康関連の実務、教育、研究に携わることをめざす学生が、成人看護を実践するための基礎的知識を得ること、特に、看護学の原理、原則に基づいて成人看護学の構造と領域を理解し、実践方法を具体的に学ぶことを目標とする。成人の看護において特に重要な領域について、講義を通して学ぶとともに、実例を元にしたケースについて看護過程を展開し、プレゼンテーション・ロールプレイを実施する。		
授業計画	<p>4月7日(金) ガイダンス / IPE と IPW</p> <p>4月14日(金) 生活支援の看護学、家族支援・エンドオブライフケア / 看護過程の展開</p> <p>4月21日(金) HIV感染者・AIDS患者の看護 / 患者会</p> <p>4月28日(金) 外来化学療法の看護 / 歯と健康</p> <p>5月12日(金) 服薬アドヒアランス・緩和ケアとチーム医療 / 看護計画発表</p> <p>5月19日(金) リハビリテーション (PT・OT・ST)</p> <p>5月26日(金) 神経難病患者の看護 / 試験・実習オリエンテーション</p>		
授業の方法	講義、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク、ロールプレイによる		
成績評価方法	試験、出席、プレゼンテーション等による		
教科書			
参考書	看護学テキストシリーズ NiCE 「成人看護学：慢性期看護～病気とともに生活する人を支える」「成人看護学：急性期看護 I～概論・周手術期看護」南江堂		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三分の二以上の出席数を満たした場合に試験受験資格を有する。 ・ 正当な理由なき遅刻・退出が 30 分を超えた場合には欠席扱いとする。 ・ 授業日程、内容は変更になる可能性あり。 		
開講場所等	医学部 3 号館 S201、医学部 3 号館 S202		
メールアドレス			
研究室電話番号	03-5841-3508		
ホームページ	http://www.adng.m.u-tokyo.ac.jp/subject_001.php		
その他			

232650	原書講読			選択
単位数	2	責任教員	各教員	
開講ターム	4年S1	開講期間	S1 (2017/04/05-2017/06/03)	
曜日・時限	集中(Int)			
科目担当	科目担当教員			
目標・概要	卒業論文などの研究において必要な英語論文、テキストなどを読み、その内容をまとめて発表する。			
授業計画	各研究室の担当教員に一任する			
授業の方法	各研究室の担当教員に一任する			
成績評価方法	各研究室の担当教員に一任する			
教科書				
参考書				
履修上の注意				
開講場所等				
メールアドレス				
研究室電話番号				
ホームページ				
その他				

2323502	成人看護学実習		選択
単位数	4	責任教員	山本 則子
開講ターム	4年S1A1	開講期間	S1A1 (2017/04/05-2017/11/18)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	御子柴 直子, 五十嵐 歩, 高井 ゆかり, 野口 麻衣子, 山本 則子		
目標・概要	成人の看護において必要となる基本的な臨床的観察、技術、思考力、判断力および態度を習得する。実習病院に入院中の患者の看護担当者の一人となり、教員あるいは実習指導者の指導を受け、病院の看護責任者の監督のもとに、患者の看護を計画し、実施し、評価する。		
授業計画	<p>4週間、1日8時間を使って医学部付属病院において行われる。</p> <p>第一期 2017/5/29～6/9 (2週間) 月～金</p> <p>学生は、内科系病棟において、教員あるいは実習指導者の指導・監督の下一人の患者を担当し、看護過程と主要な臨床看護技術を深める。</p> <p>第二期 2017/9/29～10/13 (2週間) 月～金</p> <p>学生は、外科系病棟において、教員あるいは実習指導者の指導・監督の下一人の患者を担当し、看護過程と主要な臨床看護技術を深める。</p>		
授業の方法	臨地実習(実習病院に入院中の患者一人を受け持つ)、カンファレンス、実習発表会		
成績評価方法	出席、実習内容、実習記録、レポート		
教科書			
参考書			
履修上の注意	全出席を原則とする。やむを得ない事情のある場合の欠席に限り、考慮する。		
開講場所等	医学部附属病院 各施設		
メールアドレス			
研究室電話番号	03-5841-3508		
ホームページ			
その他			

232020	環境保健学実習		選択
単位数	2	責任教員	梅崎 昌裕
開講ターム	4年S2	開講期間	S2 (2017/06/06-2017/08/01)
曜日・時限	集中 (Int)		
科目担当	梅崎 昌裕		
目標・概要	環境保健学の講義内容を深めるため、実習あるいは演習形式の講義を行う。環境保健学の流域で用いられる実験・測定・調査の手法に関する理解を深めることが、この実習の狙いである。具体的には、受講学生と相談の上で決定したテーマについて集中的に実習を行う。		
授業計画	6～7月 (集中) で、受講学生と相談して決定する。		
授業の方法	実習の具体的な内容については、受講学生と相談して決定する。環境と人間の健康に関するテーマを扱うものとするので、興味のある学生は、渡辺あるいは小坂まで連絡してください (連絡先は「その他」参照)。		
成績評価方法			
教科書			
参考書			
履修上の注意			
開講場所等			
メールアドレス	umezaki@humeco.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

232120	保健・医療管理論		選択
単位数	2	責任教員	中澤 栄輔
開講ターム	4年S2	開講期間	S2 (2017/06/06-2017/08/01)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	中澤 栄輔		
目標・概要	保健・医療管理の基盤となる生命・医療倫理学、臨床倫理、研究倫理、公衆衛生倫理学等について学び、その課題について、問題点の把握、解決法、制度的対応等を理解する。保健・医療管理領域における講義と、それにもとづくディスカッションを行う。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健・医療管理における現状と課題 2. 保健・医療管理における問題解決の方法 3. 保健・医療管理上の課題に対する制度的対応 4. 保健・医療管理と生命・医療倫理学 5. 生命・医療倫理学における規範理論 6. 生命・医療倫理学における調査研究 7. 医療現場における倫理問題 8. 臨床倫理と関連規制 9. 臨床倫理コンサルテーション 10. 研究現場における倫理問題 11. 研究倫理と関連規制 12. 研究倫理審査委員会 13. 公衆衛生領域で生じる倫理問題 14. 公衆衛生倫理学と関連規制 15. 健康格差と正義 		
授業の方法	講義とそれにもとづくディスカッション等		
成績評価方法	出席(40%)とレポート(60%)		
教科書	授業ごとの配布資料		
参考書	後日、通知する		
履修上の注意	保健・医療管理実習を履修すること		
開講場所等	医学部3号館 N404		
メールアドレス	nakazawa@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3607		
ホームページ			
その他			

232130	保健・医療管理実習		選択
単位数	2	責任教員	瀧本 禎之
開講ターム	4年S2	開講期間	S2 (2017/06/06-2017/08/01)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	瀧本 禎之, 中澤 栄輔		
目標・概要	保健・医療管理の基盤となる生命・医療倫理学、臨床倫理、研究倫理、公衆衛生倫理学等について学び、その課題について、問題点の把握、解決法、制度的対応等を理解する。保健・医療管理領域における原著購読、調査実習やフィールドの見学等を行う。		
授業計画	<p>下記プログラムの実習を行うものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 倫理コンサルテーション <ul style="list-style-type: none"> 4分割表を用いた事例検討のグループワーク 学内患者相談・倫理センターの見学 研究倫理実習 <ul style="list-style-type: none"> 模擬倫理委員会への参加 学内研究倫理支援室の見学 公衆衛生倫理 <ul style="list-style-type: none"> 文献検索方法の学習と原著購読 リサーチ・クエスションの立て方を学ぶ 研究デザインの発表と総括 		
授業の方法	原著購読、調査実習、フィールドの見学等		
成績評価方法	出席 (40%) とレポート (60%)		
教科書	実習ごとの配布資料		
参考書	後日、通知する		
履修上の注意	保健・医療管理論を履修すること		
開講場所等	医学部3号館 N404		
メールアドレス	nakazawa@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3607		
ホームページ			
その他			

232370	母性看護学実習		選択
単位数	2	責任教員	春名 めぐみ
開講ターム	4年S2	開講期間	S2 (2017/06/06-2017/08/01)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	春名 めぐみ, 松崎 政代		
目標・概要	<p>1. 目的 妊婦、産婦、褥婦および新生児とその家族を理解し、対象に応じた看護を実践できる知識・技術と態度を養う。</p> <p>2. 目標 1) 妊娠、分娩、産褥および新生児の正常な経過を理解できる。 2) 対象の健康問題を明確にし、健康維持および増進を促す看護過程の展開を理解できる。 3) 周産期の母子および夫、家族を取り巻く生活環境や心理社会的状況を理解できる。 4) 母子関係の成立状況や心理的变化を観察し、援助のあり方を考察する。</p>		
授業計画	平成29年6月12日(月)～7月7日(金)のうち2週間		
授業の方法	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病院 / 外来、新生児集中治療室(NICU) 他で臨地実習		
成績評価方法	実習記録、レポートの提出状況、実習、実習カンファレンスへの参加状況		
教科書	系統看護学講座 専門24・25 母性看護学概論・各論 [1] [2] 医学書院		
参考書			
履修上の注意	基礎看護学(I・II・III)、基礎看護学実習、母性看護学(3年)を履修していること		
開講場所等	医学部附属病院 各施設		
メールアドレス	mharuna@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3396 (内線: 23396)		
ホームページ	http://midwifery.m.u-tokyo.ac.jp/		
その他			

232460	看護管理学		選択
単位数	1	責任教員	武村 雪絵
開講ターム	4年A1	開講期間	A1 (2017/9/19-2017/11/18)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	武村 雪絵, 竹原 君江, 國江 慶子, 市川 奈央子		
目標・概要	看護管理という視点から看護の現場に起こっていること、諸課題について学び、その対応策について検討する。 具体的には、看護管理学概論、看護関連制度、組織と人の管理、看護を提供する仕組み、医療情報と倫理的課題、医療安全、医療や看護の質保証などについて学ぶ。		
授業計画	<p>9月19日(火)</p> <p>10:25～12:10 看護管理学概論、看護をとりまく制度 実習オリエンテーション</p> <p>13:00～14:45 組織と人の管理、看護提供システム</p> <p>14:55～16:40 キャリアと生涯学習 * 看護学実習要項2017～2018年を持参すること</p> <p>9月20日(水)</p> <p>10:25～12:10 医療における情報</p> <p>13:00～14:45 医療安全と質保証</p> <p>14:55～16:40 チームコミュニケーション</p> <p>9月25日(月)</p> <p>13:00～16:40 講義・実習前半のまとめ</p>		
授業の方法	講義		
成績評価方法	出席状況および課題により評価を行う。		
教科書			
参考書			
履修上の注意	出席が3分の2に満たない場合は単位を取得できない。 正当な理由なき遅刻及び退出が30分を超えた場合には、当該講義コマは欠席扱いとする。 看護管理学実習と同時期に開催する。合わせて履修すること。		
開講場所等	医学部3号館 S201、S202		
メールアドレス	NA_ACN_utokyo-office@umin.ac.jp		
研究室電話番号	基礎看護学教室 03-5841-3524		
ホームページ			
その他			

232470	看護管理学実習		選択
単位数	1	責任教員	武村 雪絵
開講ターム	4年A1	開講期間	A1 (2017/9/19-2017/11/18)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	武村 雪絵, 竹原 君江, 國江 慶子, 市川 奈央子		
目標・概要	看護管理についての講義をふまえたうえで、病院管理・看護管理の実際について見学実習し、管理者との話し合いを通して看護管理の視点を養う。 具体的には、組織理念と組織運営、ひとの管理、教育・キャリア発達支援、医療安全・質管理、情報共有と情報管理、看護提供システムに着眼し学ぶ。		
授業計画	9月21日(木) 22日(金) 東京大学医学部附属病院 9月26日(火) 聖路加国際病院 9月27日(水) 東京大学医科学研究所附属病院 9月28日(金) 講義・実習全体のまとめ(医学部3号館S201/S202)		
授業の方法	以下の病院において実習を行う。 東京大学医学部附属病院、東京大学医科学研究所附属病院、聖路加国際病院		
成績評価方法	出席およびレポートにより評価する。 原則として全日数の出席が必要である。		
教科書			
参考書			
履修上の注意	履修条件：看護科学専修の学生 看護管理学と同時期に開催する。合わせて履修すること。		
開講場所等	医学部附属病院 各施設、学外実習先 実習施設等		
メールアドレス	NA_ACN_utokyo-office@umin.ac.jp		
研究室電話番号	基礎看護学教室 03-5841-3524		
ホームページ			
その他			

232540	医化学		選択
単位数	2	責任教員	渡邊 洋一
開講ターム	4年S2	開講期間	S2 (2017/06/06-2017/08/01)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	渡邊 洋一		
目標・概要	<p>生物化学・医化学専門領域の基礎とその展開の現状を理解する。</p> <p>生物医化学領域における特別講義、原著論文セミナーなど。</p>		
授業計画	<p>時間 開講までに受講希望者に e-mail で通知します。</p> <p>授業スケジュール</p> <p>日程 6月5日(月)～7月31日(月)</p> <p>開講場所 医学部3号館 S101</p>		
授業の方法	セミナー形式の講義を行う		
成績評価方法	出席		
教科書	必要に応じ、資料を配ります。		
参考書			
履修上の注意	受講希望者は6/1までに渡邊(ywatanab@m.u-tokyo.ac.jp)まで連絡すること。		
開講場所等			
メールアドレス	ywatana@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3526		
ホームページ			
その他			

232550	医化学実験実習			選択
単位数	2	責任教員	渡邊 洋一	
開講ターム	4年S2	開講期間	S 2 (2017/06/06-2017/08/01)	
曜日・時限	集中 (Int)			
科目担当	渡邊 洋一			
目標・概要	生物化学・医化学専門領域における実験的、分析的アプローチの基礎を理解する。遺伝子導入や組み換えタンパク質の大腸菌での発現とカラムクロマトグラフィーによる精製など。			
授業計画	<p>【授業スケジュール】</p> <p><教室> 医学部3号館 生物医化学教室実験室</p> <p><時間> 相談のうえ、集中的に行います。</p> <p>6月5日(月) ~ 7月31日(月)</p>			
授業の方法	生物医化学教室で実験を行う。			
成績評価方法	出席とレポート			
教科書				
参考書				
履修上の注意	受講希望者は、6/1までに渡邊 (ywatanab@m.u-tokyo.ac.jp) まで連絡すること。			
開講場所等				
メールアドレス	ywatanab@m.u-tokyo.ac.jp			
研究室電話番号	03-5841-3526			
ホームページ				
その他				

232570	人類遺伝学実験実習		選択
単位数	2	責任教員	水口 雅
開講ターム	4年S2	開講期間	S2 (2017/06/06-2017/08/01)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	水口 雅, 馬淵 昭彦		
目標・概要	個々に実習の課題を設定し、これを遂行する過程で、人類遺伝学研究の基礎となる種々の遺伝子解析技術などを学ぶ。設備、器材に制限があるので、人類遺伝学の卒業論文を選択する学生に限る。		
授業計画	人類遺伝学に関係した課題について研究を行う。実験を行うことが多いが必須とはせず、学生と相談の上課題を決定する。 毎週木曜午前の教室ミーティングへの参加を必要とする。		
授業の方法	実習		
成績評価方法	出席等を考慮して採点を行う。		
教科書	指定しない。		
参考書	指定しない。		
履修上の注意	人類遺伝学Ⅰを履修のこと（人類遺伝学Ⅱの履修の有無は問わない）		
開講場所等			
メールアドレス	mabuchi@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	医学部1号館S212号室 03-5841-3693（内線23693）オフィスアワーは木曜16:00-17:30		
ホームページ	www.humgenet.m.u-tokyo.ac.jp		
その他			

2327601	在宅看護論実習		選択
単位数	2	責任教員	成瀬 昂
開講ターム	4年S2	開講期間	S2 (2017/06/06-2017/08/01)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	成瀬 昂, 寺本 千恵, 藤崎 万裕		
目標・概要	地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅での看護の基礎を学ぶ。在宅で提供する看護を理解し、基礎的な技術を身に付けるとともに、地域アセスメント・他職種との協働を通して、地域の中での看護の役割を理解する。		
授業計画	<p>詳細は別途連絡する。掲示に注意すること。</p> <p>7日間：訪問看護ステーション実習 1日間：病院の退院支援部署実習 1日間：学内報告会</p>		
授業の方法	施設内実習、学内報告会		
成績評価方法	1) 実習レポートと実習記録 2) 実習報告会発表内容 3) 実習出席日数、参加態度		
教科書			
参考書	木下由美子編：新版在宅看護論，医歯薬出版，2009 前川厚子編：在宅医療と訪問看護・介護のコラボレーション改訂第2版，2015 白澤政和，竹内孝仁，橋本泰子：ケアマネジメント講座1 ケアマネジメント概論，2000 日本看護協会編：看護白書，日本看護協会出版会，2011		
履修上の注意	実習期間は、7/10～7/21を予定。 事前オリエンテーションを行う。受講者に連絡するので留意しておくこと。		
開講場所等	学外実習先 実習施設等		
メールアドレス			
研究室電話番号	内線 23649/23597		
ホームページ			
その他			

232410	老年看護学実習		選択
単位数	2	責任教員	真田 弘美
開講ターム	4年S2	開講期間	S2 (2017/06/06-2017/09/20)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	真田 弘美, 玉井 奈緒, 仲上 豪二郎		
目標・概要	<p>老年看護学は、老年看護学Ⅰ、老年看護学Ⅱ、老年看護学実習の3つの科目で構成されている。老年看護学Ⅰにて、高齢者の理解、老年看護に必要となる理論、その上で老年看護学Ⅱは、高齢者特有の疾患・病態、薬物療法、栄養管理を学び、老年看護学実習では、高齢者看護の実際を学ぶ。</p> <p>以下、老年看護学実習目的及び実習目標とその方法について記す。 【実習目的】 介護老人保健施設の高齢者を通して、高齢者看護のあり方を学ぶ。 【実習目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康的老化と病的老化の違いを理解し、受け持ち利用者の全体像を描くことができる。 受け持ち利用者の状態に合わせてコミュニケーションを取ることができる。 2. 高齢者の強みを見出すことができる。 3. 介護老人保健施設における看護師の役割を理解すると共に各職種の役割を理解できる。 チームケアを通して、多職種（医師、介護士、PT、OT など）とのコラボレーションを学ぶことができる。 4. 受け持ち利用者とのコミュニケーションを通して、自己の看護師としての関わり方の特徴を捉えることができる。 5. 高齢者や認知症を理解した上でアクティビティの企画、運営ができる。 6. 臨地実習を通して、高齢者看護における今後の課題を見出すことができる。 		
授業計画	<p>【実習方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護老人保健施設において日常生活遂行に援助が必要な一人の高齢者を受け持ちながら、臨地実習指導者とともにケアを提供する。 2. 自己の看護師としての関わり方を考えるために受け持ち高齢者のプロセスレコード作成・振り返りを行う。 3. 介護老人保健施設における看護師の役割について理解するために、施設における看護師に半日同行及び施設内ミーティングに参加する。 4. 高齢者施設におけるグループアクティビティの意義、そこでの看護師の役割について考えるためにグループアクティビティの企画、実施、評価をグループで行う。 5. 社会資源としての介護老人保健施設の意義、役割を理解するために、デイサービスの見学をする。 <p>【実習スケジュール】 日程：6月26日（月）～7月7日（金） 場所：医療法人社団龍岡会 龍岡介護老人保健施設</p>		
授業の方法	実習		
成績評価方法	出席、実習の取り組み、実習記録、課題レポート		
教科書			
参考書	適宜提示する。		
履修上の注意	基礎看護学（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、基礎看護学実習、及び老年看護学（Ⅰ・Ⅱ）を履修していること。		
開講場所等	学外実習先 実習施設等		
メールアドレス			
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

232070	応用数理		選択
単位数	2	責任教員	松山 裕
開講ターム	4年A1	開講期間	A1 (2017/09/26-2017/11/18)
曜日・時限	火 (Tue)3 [13:00-14:45], 火 (Tue)4 [14:55-16:40]		
科目担当	松山 裕, 大庭 幸治		
目標・概要	統計的推測理論の基本の一つである線型推測理論の幾何学的理解を目標に、必要な基礎知識を合わせて講義する。		
授業計画	<p>9月26日 確率変数・確率分布・標本分布理論 (1)</p> <p>10月3日 確率変数・確率分布・標本分布理論 (2)</p> <p>10月10日 線型推測理論とピタゴラスの定理)</p> <p>10月17日 推定論 (1)</p> <p>10月24日 推定論 (2)</p> <p>10月31日 仮説検定論</p> <p>11月7日 予備日</p>		
授業の方法	<p>講義形式</p> <p>SAS/IML などを使用した実習も適宜行う</p>		
成績評価方法	出席点 50% と毎回の課題 50%		
教科書	<p>参考書は指定しないが、毎回の講義資料を理解すること。</p> <p>理解の助けのために参考書は適宜紹介する。</p>		
参考書	<p>竹村彰通. 現代数理統計学. 創文社.</p> <p>伊理正夫、韓太舜. 線型代数. 教育出版.</p>		
履修上の注意	講義場所は、医学部3号館別棟 E501		
開講場所等	医学部3号館別棟 E501、医学部3号館 S101		
メールアドレス	matuyama@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	医学部3号館別棟 5F 内線 3520		
ホームページ	http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
その他			

232100	医学データ解析		選択
単位数	2	責任教員	大庭 幸治
開講ターム	4年A1	開講期間	A1 (2017/09/26-2017/11/18)
曜日・時限	金 (Fri)1 [08:30-10:15], 金 (Fri)2 [10:25-12:10]		
科目担当	大庭 幸治, 篠崎 智大, 松山 裕		
目標・概要	臨床研究・疫学研究で頻用される統計解析法について講義するとともに、SAS を用いて実習を行う。基本的に、午前は講義で午後実習を行う。		
授業計画	<p>09月29日(金) SASの基本動作</p> <p>10月06日(金) 記述統計／推測統計の基礎</p> <p>10月13日(金) カテゴリカルデータ解析／層別解析・ロジスティック回帰</p> <p>10月20日(金) 相関と回帰／回帰分析の応用</p> <p>10月27日(金) 分散分析入門(多群の比較)／実験計画と分散分析</p> <p>11月10日(金) 生存時間解析入門</p> <p>11月14日(火) 経時データあるいは相関のあるデータの解析</p>		
授業の方法	講義		
成績評価方法	出席(50%)と毎回のレポート(50%)		
教科書			
参考書	<p>市川伸一・大橋靖雄「SASによるデータ解析入門」東京大学出版会</p> <p>高橋行雄・大橋靖雄「SASによる実験データの解析」東京大学出版会</p> <p>大橋靖雄・浜田知久馬「生存時間解析」東京大学出版会</p> <p>Altman DG. 「医学研究における実用統計学」サイエンティスト社</p> <p>Agresti A. 「カテゴリカルデータ解析入門」サイエンティスト社</p> <p>Verbeke G and Molenberghs G. 「医学統計のための線型混合モデル」サイエンティスト社</p>		
履修上の注意	<p>・疫学・生物統計学あるいは同様のレベルの統計学の履修を終えていること、及びSASの基本的な使い方を知っていること。大学院生の聴講も歓迎する。</p> <p>・同日午後開講の「医学データ解析実習」で講義内容に関連したSAS実習を行う。</p>		
開講場所等	医学部3号館別棟 E501、医学部3号館 N101		
メールアドレス	oba@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	医学部3号館別棟5階(内:23519)		
ホームページ	http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/		
その他			

232110	医学データ解析実習		選択
単位数	1	責任教員	大庭 幸治
開講ターム	4年A1	開講期間	A1 (2017/09/26-2017/11/18)
曜日・時限	金 (Fri)3 [13:00-14:45], 金 (Fri)4 [14:55-16:40]		
科目担当	大庭 幸治, 篠崎 智大, 松山 裕		
目標・概要	医学データ解析参照		
授業計画	<p>09月29日(金) SASの基本動作</p> <p>10月06日(金) 記述統計・簡単な推測統計に関する実習</p> <p>10月13日(金) カテゴリカルデータ・層別解析・ロジスティック回帰の実習</p> <p>10月20日(金) 相関と回帰に関する実習</p> <p>10月27日(金) 分散分析に関する実習</p> <p>11月10日(金) 生存時間解析に関する実習</p> <p>11月14日(火) 経時データあるいは相関のあるデータに関する実習</p>		
授業の方法	統計解析ソフトウェア SAS を用いた、各回のテーマに合わせた統計解析の実習		
成績評価方法	出席 (50%) と毎回のレポート (50%)		
教科書			
参考書			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学・生物統計学あるいは同様のレベルの統計学の履修を終えていること、及び SAS の基本的な使い方を知っていること。大学院生の聴講も歓迎する。 ・PC貸し出し希望者は事前に担当教員まで連絡すること。 ・同日午前開講の「医学データ解析」を受講すること。 		
開講場所等	医学部3号館別棟 E501、医学部3号館 N101		
メールアドレス	oba@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	医学部3号館別棟5階 (内: 23520)		
ホームページ	http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/		
その他			

232900	看護の統合と実践実習		選択
単位数	1	責任教員	山本 則子
開講ターム	4年A1	開講期間	A1 (2017/10/17-2017/10/21)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	御子柴 直子, 五十嵐 歩, 野口 麻衣子, 山本 則子		
目標・概要	既習の知識、技術への理解を深め、成人看護実践の基礎的能力を向上させる。実習病院に入院中の患者を複数受け持ち、教員、実習指導者あるいは担当看護師の指導を受け、病院の看護責任者の監督のもとに、患者の看護を計画し、実施し、評価する。また、夜勤を体験し、夜勤帯における看護業務や昼夜を通しての継続した看護の流れの実際を知る。		
授業計画	期間：2017年10月16日～10月20日 1週間、1日8時間を使って医学部付属病院において行われる。成人看護学実習後半に引き続き、同じ外科系病棟において、教員、実習指導者の指導・監督の下、二人の患者を担当し、看護過程と主要な臨床看護技術を深める。1週間のうち1日は夜勤(15:30～22:45)とする。		
授業の方法	臨地実習(実習病棟に入院中の患者二人を受け持つ)、カンファレンス、実習発表会		
成績評価方法	出席、実習内容、実習記録、レポート		
教科書			
参考書			
履修上の注意	全出席を原則とする。やむを得ない事情のある場合の欠席に限り、考慮する。		
開講場所等			
メールアドレス			
研究室電話番号	03-5841-3508		
ホームページ			
その他			

2323802	小児看護学 II		選択
単位数	1	責任教員	上別府 圭子
開講ターム	4年 A 1	開講期間	A 1 (2017/10/24-2017/11/25)
曜日・時限	集中 (Int)		
科目担当	上別府 圭子, キタ 幸子, 佐藤 伊織, 副島 堯史		
目標・概要	看護学コースの学生のための必修科目である。 小児病棟でみられる代表的な小児期の急性・慢性疾患の病態を理解し、健康障害を持つ児とその家族に対して適切なアセスメントを行い、看護を計画・実践・評価することを学ぶ。また、実習に先立ち、学内演習を実施する。		
授業計画	4 学年 (A1) 後期 I 時間 10 月 23 日 (月) 1 限～ 4 限 (8:30 ～ 16:40) 10 月 24 日 (火) 1 限～ 4 限 (8:30 ～ 16:40) 10 月 25 日 (水) 1 限～ 4 限 (8:30 ～ 16:40) 10 月 26 日 (木) 1 限～ 4 限 (8:30 ～ 16:40) ※ 日時は変更の可能性あり 講義題目 ・ 手術を要する疾患の病態とケア ・ 小児の悪性腫瘍 ・ 発達と神経疾患の病態とケア ・ 水・電解質異常の病態とケア ・ 入院している子どもへの看護 ・ 学内演習 ・ 試験		
授業の方法	講義と学内演習により行う		
成績評価方法	試験と出席点から評価を行なう 正当な理由なき遅刻及び退出が 30 分を超えた場合には欠席扱いとする 最終試験受験資格は、全 8 コマのうち 6 コマ以上出席した者にのみ与える		
教科書			
参考書	キャスリーン M. スピア編, 田中正徳訳:看護診断に基づく小児看護ケアプラン, 医学書院, 1999. 塚原正人監訳:小児の看護アセスメント 最新看護ガイド, 医学書院, 2001. 青山興司編著:小児外科看護の知識と実際, メディカ出版, 2004. 土居悟編著:小児呼吸器の看護マニュアル, メディカ出版, 2006. 飯沼一字他著:小児科学・新生児学テキスト (第 5 版), 診断と治療社, 2007. 白木和夫, 前川喜平編:小児科学 (第 3 版), 医学書院, 2008. 五十嵐隆監訳:一目でわかる小児科学 (第 2 版), メディカルサイエンスインターナショナル, 2008. 船戸正久, 高田哲編著:医療従事者と家族のための小児在宅医療支援マニュアル (改訂第 2 版), メディカ出版, 2010. 浅野みどり編:根拠と事故防止からみた小児看護技術, 医学書院, 2012. 小児血液・がん学会編:小児血液・腫瘍学, 診断と治療社, 2015 JPLSG 長期フォローアップ委員会長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ編:小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン, 医薬ジャーナル社, 2013.		
履修上の注意	小児看護学 I を履修していること 学内演習は医学部 5 号館 2 階汎用実習室において行う		
開講場所等	医学部 3 号館 S102		
メールアドレス			
研究室電話番号	23694		
ホームページ	http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/		
その他			

2323902	小児看護学実習 II		選択
単位数	2	責任教員	上別府 圭子
開講ターム	4年 A 1	開講期間	A 1 (2017/10/24-2017/11/25)
曜日・時限	集中 (Int)		
科目担当	上別府 圭子, キタ 幸子, 佐藤 伊織, 副島 堯史		
目標・概要	病棟実習をとおして、疾病を持った乳幼児の看護問題について学習する。小児の発達段階を考慮しつつ、疾病が家族に与える影響についてもアセスメントできるようになることを目的とする。実習では、小児のケアに必要な基礎知識をもとにケア展開に取り組む。		
授業計画	日程：平成 29 年 11 月 13 日 (月) ～ 11 月 24 日 (金)		
授業の方法	病棟実習		
成績評価方法	実習状況とレポートから総合的に評価する		
教科書			
参考書	<p>キャスリーン M. スピア編, 田中正徳訳：看護診断に基づく小児看護ケアプラン, 医学書院, 1999.</p> <p>小島操子, 時安眞智子編：看護のコツと落とし穴 (5) 小児看護, 中山書店, 2000.</p> <p>リチャード・H. トムソン 他著：病院におけるチャイルドライフー子どもの心を支えるも遊びもプログラム, 中央法規出版, 2000.</p> <p>山崎洋次, 溝上祐子：小児のストーマ・排泄管理の実際, へるす出版, 2003.</p> <p>土居悟編著：小児呼吸器の看護マニュアル, メディカ出版, 2006.</p> <p>飯沼一字他著：小児科学・新生児学テキスト (第5版), 診断と治療社, 2007.</p> <p>野中淳子編：改訂 子どもの看護技術, へるす出版, 2007.</p> <p>山高篤行, 下高原昭廣編：小児外科看護の知識と実際, メディカ出版, 2010.</p> <p>船戸正久, 高田哲編著：医療従事者と家族のための小児在宅医療支援マニュアル (改訂第2版), メディカ出版, 2010.</p> <p>石黒彩子, 浅野みどり編：発達段階からみた小児看護過程+病態関連図 (第2版), 医学書院, 2012.</p> <p>前田浩利編：地域で支える みんなで支える実践!! 小児在宅医療ナビ (第1版), 南江堂, 2013.</p> <p>JPLSG 長期フォローアップ委員会長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ編：小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン, 医薬ジャーナル社, 2013.</p> <p>田原卓浩編：移行期医療：子どもから成人への架け橋を支える, 中山書店, 2015.</p> <p>小児血液・がん学会編：小児血液・腫瘍学, 診断と治療社, 2015.</p> <p>白木和夫, 高田哲編：ナースとコメディカルのための小児科学 (第5版), 日本小児医事出版社, 2016.</p> <p>中垣紀子監修, 子どもの病気と看護技術 採血・輸液を受ける子どもへの援助, 医学映像教育センター [DVD]</p>		
履修上の注意	<p>1. 学生定期健康診断を受診し、抗体検査および必要な予防接種を済ませておくこと。</p> <p>2. 基礎看護学 (I・II・III)、基礎看護学実習、小児看護学 (I・II)、小児看護学実習 I、家族看護学を履修していること。</p>		
開講場所等	医学部附属病院 各施設		
メールアドレス			
研究室電話番号	23694		
ホームページ	http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/		
その他			

232450	精神看護学実習		選択
単位数	2	責任教員	川上 憲人
開講ターム	4年A1	開講期間	A1 (2017/10/24-2017/11/25)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	川上 憲人, 宮本 有紀		
目標・概要	<p>精神科の治療場面に参加することにより、基本的な精神科看護技術について考え、実践することを目的とする。加えて、医療と人間、社会、生活の観点から精神疾患を有する人の生活を援助する精神医療保健福祉サービスのプロセスを考察する。</p> <p>特に実践場面では下記の点に留意する。</p> <p>① ご本人にとって大切なこと、ご本人が望んでいることは何かを知る。 ② 現在の状況に至るまでをご本人はどのようなものであったと捉えているか、ご本人は何を求めて精神科医療保健サービスを利用しているかを知る。 ③ ご本人の持つ力が最大限引き出されるような活動やご本人が主体的に行うことができるような環境を共に考える。 ④ やり取りの中で自分と相手に起こる様々な反応や変化に気付き、自分の反応や言動が相手との関係に与えた影響について吟味する。</p>		
授業計画	<p>平成29年10月30日(月)～11月10日(金)の2週間で下記実習場で実習を行う</p> <p>〈場所〉 東京大学医学部附属病院 精神神経科病棟および精神科デイホスピタル</p> <p>〈時間〉 8:00-17:00</p>		
授業の方法	実習		
成績評価方法	出席状況と実習状況、実習態度、レポートを総合的に評価する。		
教科書			
参考書			
履修上の注意	<p>《履修条件》精神保健学実習、基礎看護学実習、精神看護学講義を履修していること。</p> <p>【備考】</p> <p>精神看護学実習の履修希望者は4月末までに宮本(精神看護学)へ連絡すること。</p> <p>実習オリエンテーションは10月27日(金)に行う予定(詳細は精神看護学講義内で連絡します)。</p>		
開講場所等	医学部附属病院 各施設、学外実習先 実習施設等		
メールアドレス	yyuki-tky@umin.ac.jp		
研究室電話番号			
ホームページ	http://plaza.umin.ac.jp/heart/		
その他			

230270	卒業論文			必修
単位数	6	責任教員	各指導教員	
開講ターム	4年集中	開講期間	集中 (2017/04/01-2018/03/31)	
曜日・時限	集中 (Int)			
科目担当	科目担当教員			
目標・概要				
授業計画				
授業の方法				
成績評価方法				
教科書				
参考書				
履修上の注意				
開講場所等				
メールアドレス				
研究室電話番号				
ホームページ				
その他				